二月十五日 夕刊

日刊但シ日曜祭日型
日本刊一ヶ月廿五錢
郵税十五錢一部二錢
廣告料 一行四十錢
場所指定 二十錢增
發行兼編輯印刷人 平谷政喜
發行所 福島縣平町大町二三 新いわき新聞社

平町の新豫算は總額四十六萬圓

繰越數字を避けた爲の減少

來る十七日に内示會

平町の十二年度豫算は漸く編成を了して來る十七日午後一時内示會を催されるが新豫算總額は四十六万圓で前年度の當初豫算額四十九萬八千百四十二圓に比し三萬余圓の減額を見るものゝ如く同町に於ける四圍の情勢に對して五十万圓を突破するであらうと想像された新豫算が斯の如き數字的減少を示した原因は事業的の施行加減によるもので第四小學校の新設を敷地の埋立てのみになせるもの其の他繰越しの數字を避けた關係であるが市制施行の準備その他同町の計畫に於ては既定の方針に異狀なく寧ろ積極的の余剰力を多分に含められてゐる模樣である

俵米共販値

十錢安

四七四俵不調

既報十三日に繰延べられた石城郡販聯の俵米共販は十余名の競爭入札ありたるも下値歩調に平倉庫一號外六口四百七十四俵の不調を見て千二百九十四俵の出荷の中八百二十俵を取引されたが相場は左記の如く前回に比して通じて一俵に付十錢の下落である

一俵(六十八錢)以上

十二錢)同三號二四俵(六十四錢)渡邊一六二俵(六十錢)大野一號一三八俵、同二號一三八俵(各七一錢)飯野五一俵(七十八錢)好間村小谷作二〇俵(五十三錢)草野一五俵(七十錢)平四號一三四俵(七十九錢)神谷三

平町と平窪村の兩合併委員會議

廿九名今日平町會議事堂で

出石總務部長等臨席

平町の市制調査委員は昨十四日午前十時町會議事堂に平窪村との合併に關して漸く實現の曙光を見るに至つた經過報告後平窪側の要求條件につき審議の結果全部(既報)承認の回答を決し今十五日は平町左記十九名の委員と平窪村委員十四名(村長助役外十二村議)が午前十一時から平町會議堂に會見縣から出石總務部長會田屬その他臨席折衝を試みた

平町の市制調査委員は昨十四日午前十時町會議事堂に平窪村との合併に關して漸く實現の曙光を見るに至つた經過報告後平窪側の要求條件につき審議の結果全部(既報)承認の回答を決し今十五日は平町左記十九名の委員と平窪村委員十四名(村長助役外十二村議)が午前十一時から平町會議堂に會見縣から出石總務部長會田屬その他臨席折衝を試みた

平窪の要求條件

合併問題に關し平窪村が平町に要望する條件は左の如くである

◇平町に要望案

一、平町と決定は速に平市と合併して發展を期するためには商業都市たるか將商工併進都市たるべきか其嚮ふ可き方針と地區とを豫定し工場誘致等の方法如何、且又農業生産奬勵等の具体的市是を確立し市民協力一致して以て市繁榮の基礎を定め一般に公表せられたし

二、目の隙直ちに好間村の一部及大字赤井の合併を促進實現を期せらるべし

◇教育教化に關する件

一、現在の小學校は存續し其の設備を完成すること、專用講堂並に不足の校舍を直ちに增築すること

二、青年學校は男女常設とし小學校に併置し農業青年の堅實なる指導をなすこと

三、商業學校は北部に移轉し特に青年學校普通課目の兼業の便ならしむること

四、平第五小學校を平橋附近に設置し中堅分教場を應すること

五、澤村公墳墓を擴大し更に其遺德を顯彰し地方教化の中心たらしむること

六、不森聚落の道路を改善し地方の繁榮たるの實を擧ぐること

◇財政に關する件

一、村有財産は左に仍りて處分し平町に合併せず

1、林野は現在の地上權者及收益者各大字毎に共同所有權を與ふること

2、其他町有林は各大字神社一社づゝの基本財産とすること

3、各種基本金及積立金は平窪村會の決議を以て任意處分すること

4、小學校、役場等の營造物は當然市に移轉す

二、現在平窪村の區域内住民には現今税制にては昭和十一年度以前五ヶ年平均税額以上に負擔せざることを契約すること(戶數數の如き)

三、昭和十二町度以降の河川改修工事用地村補助金は平市に於て助成すること

◇行政に關する案

一、市條例を制定し舊平窪村を以て一選擧區とし選出議員定員を五名とすること

二、現在の行政區を五區とし【上平窪區、中平窪區、下平窪區、中鹽、四ツ波區、幕の内、鯨岡、大森區)區長及區長代理者を置くこと、各區に公衆電話を架設すること

三、市の出張所を現在役場に設け普通事務を取扱ふこと電話を架設すること

四、小川江筋管理者は市長に指定せらるゝ樣實現を期すること、

◇勧業に關する件

一、市農會事務所を北部に設け市費の助成を充分にして以て農産地域の進歩發達を圖ること

二、市費を以て産業指導に關する優良技術員を傭聘し技術及經營の向上を期すること

三、平窪村信販購利組合を存置し更に强化擴充を圖ること

◇衛生に關する件

一、水道の必要ある個所には敷設して飲料水の改良を期すること

二、市助成の下に低料診療所を中平窪に設置すること、(市の中心に遠隔個所には醫療に不便を感ずるが故に此の設備を爲すと共に農民醫療費の低減を期するにあり)

三、汚物掃除は市經營として其産出物は一定の個所に集め其處分使用は無料にて擧げて市内の農家に委ねること

◇交通警備に關する件

一、村區域内の市道幹線を定め且つ直ちに自動車を通じ得べき市員に改修すること幹線道路は五ヶ年以内に完成を期すること

二、赤井驛に通ずる道路及夏井川に架する橋梁を二個所新設すること

三、中鹽より川中子を經て平町に至る道路及橋梁を新設すること

四、胡摩澤坂路の切下げ改修實現を期すること

五、平驛の北口改札口及仲間踏切の改造の實現を期すること

六、直ちに小型自動車ポンプを設備すること、且つ鐘骨火の見櫓を城山に設くること

常識講座

ボルシエヴイキは(露語)ボルシエヴイズムに屬する人、ボルシエヴイズムはマルクス主義を實現せんとするプロレタリア獨裁權の共産主義、ノンシエヴイキは穏和な社會革命黨

農事實行組合の施設經營競技會

石城郡神谷村では村内農事實行組合施設經營の競技會を行ひまる十三日午前同村小學校で左記優良者を表彰した

一等下片寄組合▲二等中神谷上組、同第二▲三等鎌田石名坂、同入組、中神谷天神、下片寄北組、中神谷第三、同上岸、上片寄中央、同第二▲四等中神谷岸組合外六組合

民族の推移考察

繭に就て

(9) △生

忌避的語韻を用ふるに至るを見るに、一部女子間のみの表現態度が何等の變哲と懷疑も伴わなく男子方部に遷り來れるを證ずすべき好個の例證でもあらうと思ふ。

顧るに蠶神として民間傳承の對照たる馬札を想到するに養蠶飼育の困難なる條件の下に科學的觀念の不信と缺亡に依りて生ずる女性的忌避習俗に、忌詞に配するに目出度き文字を以て、生馬を稱して「ウマくあたる」の表徴なりとし、蚕室に奉幣、敬虔の念にからられて居る如くも察せられる。現に角這殼の考察に依れば蠶種紙に馬像を描きしも該思想に他ならなく、所謂「寒浸し」と稱し蠶卵紙を冷水に投下し浸漬する行事に對しても「午日に入れて酉日に上げる」などは期間日數的根據を基底とし發生を見たのであらうが「ウマくあたつて多くをトル」

「ウマくあたる」の表徴なりとし、蚕室に奉幣、敬虔の念にからられて居る如くも察せられる。現に角這殼の考察に依れば蠶種紙に馬像を描きしも該思想に他ならなく、所謂「寒浸し」と稱し蠶卵紙を冷水に投下し浸漬する行事に對しても「午日に入れて酉日に上げる」などは期間日數的根據を基底とし發生を見たのであらうが「ウマくあたつて多くをトル」

中農講習始る

石城中堅農民養成講習會は十五日から廿月十三日まで開催される、受講者は九十名、講師は縣農會成島、田中、川部三技師、芳賀技手、中島主事

小名濱の小火

小名濱町字西菓子商吉田寅松方から十四日午後四時發火、同家を全燒したゝ損害八百圓原因風呂場の煙突の飛火

階級受驗者

百五名

全部合格の模樣

大日本武德會の劍道階級試驗は昨十四日午前植田署、午後平署の二個所に於て施行され縣の小川教士その他の審査を經たが受驗者左記の如く總數百五名で學生側から平商業一八、磐中九、小學校教員六名及び小名濱町から二名等警察以外からも多數の希望を見せ成績は大体全部の合格を見るものゝ如く發表は來る四月中旬頃になるであらうと

植田署一級四、初段一三、二段七、三段七▲平署初段三四、二段二三、三段七、四段一〇(以上)

鐵道傭人採用試驗

とゝにも就職難

水戸運輸事務所管内平驛方部の傭人採用試驗は十四日磐中講堂で行はれたが受驗者は七百五十名に上つた、このうち中學卒業者は八十名といふ多數先づこの日の學科試驗に合格した七十五名が近く水戸で行はれる第二次口頭試問の關門をくゞる資格を得たわけだが何しろ二十人に一人といふ物凄い採用率だからこのうち希望かなつて金座たんをつけられるのは僅か五、六名だといふ

柳沼等に執行猶豫の判決

山文事件の一味

山文事件に連座した須賀川町磐電氣部倉庫會用度係主任柳沼春立(三四)同係員高倉福(二八)の兩名にかゝる業務上横領事件は十五日平區でいづれも懲役六ヶ月(三年間執行猶豫)の判決を受けた

助成會へ寄附

平町齋田町無名氏から十五日平町助成會宛金二十圓を寄附して來た

少年劍道大會

二十八日に延期

平、四倉、植田三武德會分會聯合主催の郡下小學校兒童劍道大會は二十一日平第三小學校で開催の豫定であつたが都合により二十八日に延期

今晩も明日も北西の風、晴

【小名濱測候所】

産業欄

桃の栽培（三）

縣農試石城分場長　齋藤技師

五、開園栽培法

先づ第一に深耕が必要である、耕起の深浅は樹の一生に重大な影響がある、二尺以上三尺ぐらゐに深耕するのがよい、傾斜地の場合は傾斜と直角の方向に長く深耕する、果實が成熟するには土壌中に相當の水分がなければならない從つて耕土の淺いところは積極的に灌水するのがよいのである、溜池はなるべく高いところに作れば灌水に便利であるが園内の水を利用するには不要の際に降つた過剰の雨水を貯へることが必要であるから園の下方に溜池を作らなければならない、急傾斜地の場合は階段畑とする必要がある

(一)苗木、苗木は品種の確實なものでなければならない發育不良で病虫害の被害のないことが必要である、落葉後は成るべく早く手に入れることがよい、

(二)栽培距離、從來一般に二間四方または其れ以内に栽植されたものが多いが此のやうなものは樹齢十年にもなれば園に近い狀態となるのが常である、土地の肥沃の程度及び耕土の深淺によるが二間以上が必要である、場合によつては四間四方植も廣すぎはしない、

(三)栽培時期、秋季落葉後から春季發芽前に至る間であつて極寒の季節を除けば何時でもよいが成るべく遲すぎないことが必要である、

× × ×

◇一般印刷物も御引受致します
新いわき新聞社印刷部

慢自の品良優も豚も牛
肉の御用命

漆器と家具
和
和久井屋
電話〇五番

漢方
はりくすり
灸公華
特約店御希望の方には本部規約申出下さい
胃腸病の恐れも無く即に効力作用も無く効力本位を モットーとする漢藥生公華のお用を見て奨め致します。
本藥は漢方貴藥のみ調製せる粉末藥にして これに必らず玉子黄味共に良く練合ネル布に伸して使用するのです一回くとの効力があらわれ非常に便利する所に付ては色々の有効な藥です 使用法にあり。赤地に黒の文字で生公華と書いた袋の立て看板お話が特約販賣所です。
（他に胃腸の弱い方に適する藥もお求めあり）
家の家の危機から 傳染病を防ぐ 唯一の藥 これです
定價 四〇瓦入 五十錢 八〇瓦入 九十五錢 四〇瓦六袋入 二圓十錢 四〇瓦十袋入 四圓
主効 肺炎 肋膜炎 氣管支 扁桃腺炎 神經痛 リウマチス 關節炎 中耳炎 骨膜炎 ヒ疾 腹冷痛 打身くじき ルイ漏疹 凍傷 火傷 著效有り
磐城平町五丁目角
山野邊藥局

産科 婦人科 院長 木村寅次郎
外科 醫學博士 内木宗八
藥局 藥劑師 大岩俊雄
平町新川町九
入院隨意 病室完備
木村病院
電話六四番

外科一般 内臓外科
レントゲン科 泌尿器科
北川外科
（血液檢査毎日）
イツデモ入院デキマス
平町新川町二七（電四六四）
醫學博士 北川芳夫
技師 小林良次

入院應需（自炊の便あり）
明雲堂眼科醫院（電話六六九）
田町（平三丁目裏川岸通）
『看護見習募集』

内科、小兒科
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科
平町田町
高久病院
電話五一三番
院長 醫學士 高久忠

診療科目
一、齒科一般
保存科、補綴科、齒槽膿漏科、齒列矯正科、小兒齒科、
一、口腔外科
一、レントゲン科
中野齒科醫院
院長 日本齒科醫學士 中野恵次
日本齒科醫學士 西川誠
平町田町（松月堂向ひ）電話五〇九番

久
和洋銅鐵、金物屋
釜屋商店
電九・九九

生徒募集
躍進日本の女性に
産婆看護婦をお奨め致します
婦人の職業として
それには成績の最もよいと定評のある
平南町 産婆看護婦學校へ
◎申込み成るべく早く
◎新學期の開始は四月八日より
平産婆看護婦學校
校長 清野キヨ 電話三〇七番

ザロンで　エビ料理を
始めました
サロンベニエ（天ぷら）
三十錢
ベニエライス（天丼）
三十五錢
どうぞ御試食を
レストラン サロン
電三五二

移轉お知らせ
今般スタヂオ擴張の爲め左記に移轉仕り候間從前通り御引立の程偏にお願ひ申上候
平町田町五番地（三丁目北裏通り）
齋藤寫眞舘
電話（呼）二七一番

産科、婦人科
根本醫院
平町南町五二　電話三四番
入院隨時
手術室完備
根本莊次郎
根本貞雄

生徒募集
文部大臣認可
藤田女學校
一、本科　六十名　二、裁縫專修科百名
三、專攻科　三十名　四、師範科　二十名
五、本科　裁縫專修科第一學年補缺若干名
六、洋裁科　若干名
一、願書受付三月三十日マデ
二、詳細ハ學則其他請求ノ事
平町田町（電話三二八）